

【持続可能な上田をつくるために】
ソーラーシェアリングサミット2019 in 上田

無料

講演会とパネルディスカッション
農村から未来を考える。

農村と地方都市との新しい連携

持続可能な農村をどう創っていくか？
～農・食・文化・教育・環境、そしてエネルギー～
農村や森林はそもそも多種多様ななりわいを持っていました。

新たに多様な価値に注目が集まる農村地域。
消費地であり、様々な情報や機会のある中心市街地。
新しい連携が生まれれば、魅力は増幅し、地域力はさらにアップするでしょう。
地元の棚田と地酒の連携など

日本各地、そして世界各地、農村と地方都市の連携から未来を考えます。

2019年12月8日(日)14:00～17:00 (13:30 開場)

会場：信州大学 繊維学部 11番講義室 (上田市常田3丁目15-1)



基調講演「輝く農山村。農村と地方都市との連携」

石田信隆氏 (農林中金総合研究所客員研究員。
一橋大学経済学研究科客員教授。)

パネル・ディスカッション 石田氏と共に

吉村武洋氏 (長野大学環境ツーリズム学部准教授)

岡崎謙一氏 (岡崎酒造・上田市)

宮野雄介氏 (アグロノーム農園・東御市)

合原亮一氏 (合原有機農園・上田市)

同日午前中に
ソーラーシェアリング施設見学会も行います。
希望者は10:00に、
上田電鉄別所線 舞田駅にお集まりください。
(電車でお越しの方は自動車分乗が
徒歩10分となります)
なお、昼食は各自でお願いします。

※資料と席の用意がありますので、お申込みください。(裏面)

主催：(一社)自然エネルギー共同設置推進機構(NECO)
後援：自然エネルギー信州ネット
協力：信州大学繊維学部高橋伸英研究室、株式会社ガリレオ、
NPO法人上田市民エネルギー

この件についてのお問合せ
一社) NECO
info@neco.or.jp
TEL：0268-75-5896

このイベントは2019年度の独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

「賑やかな街なかと 実り多い農村 豊かな自然」 そんな地域を目指して

たとえば、上田では稲倉棚田の地域ぐるみの保全活動、それをブランディングして都会の人も参加して楽しみ交流する。できた酒米を今度は上田市街地の伝統酒屋の岡崎酒造が特別な地酒に仕上げる。その取り組みを映像にして地域の価値をさらに高める、そんな実践があります。

こんな「農村地域」の良さと「都市」の持つ情報発信力や加工技術などが連携していくような例を、専門家や実践家から話題提供いただき、持続可能な上田の農村と街なかの姿を探りませんか？

基調講演には、長い間、農林中金総合研究所で日本の農業政策をリードしてきた石田信隆先生を迎えます。日本各地、そして世界各地、農村と地方都市の連携から未来を考えます。



基調講演

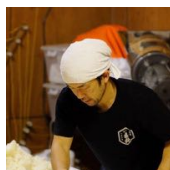
石田信隆氏（農林中金総合研究所客員研究員。一橋大学経済学研究科客員教授。）共著書『「地方創生」はこれだよ！のかーJ Aが地域再生に果たす役割ー』『農家が消える』『輝く農山村』『ドイツに学ぶ 地域からのエネルギー転換』ほか多数。



パネル・ディスカッション

石田信隆氏

吉村武洋氏（長野大学環境ツーリズム学部准教授）著作「ルーラル・アメニティ保全のための費用負担ー白米千枚田・姨捨棚田を事例に」ほか。



岡崎謙一氏（岡崎酒造）上田市に残る美しい稲倉棚田でできた酒米を用い、上田まちなかにある酒蔵「岡崎酒造」で伝統の地酒造りを行っている。



宮野雄介氏（アグロノーム農園）原種に近い野菜を育て、種を自分で採種して栽培。有機肥料低農薬。都市住民の体験農業も。



合原亮一氏（合原有機農園）有機農法の省力化などに取り組む。営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）実践者。ITや自然エネルギー事業など多様な生業に従事。

参加申込用紙

FAX、メール、または、右のQRコードからお申込みできます。



ふりがな お名前	
ご所属	
参加人数	
当日連絡先 電話番号、e-mail	

FAX: 0268-75-5868 メール: info@neco.or.jp